

受付印

貼用収入印紙	円
予納郵便切手	円
予納収入印紙	円

家事 **審判** 申立書 事件名(性別の取扱いの変更)
調停

この欄に申立手数料としての収入印紙をはる(はった印紙に押印しない)。
 (1件について) 甲類審判 800円分
 印紙 乙類審判1,200円分
 調停 1,200円分
 (注意) 登記手数料としての収入印紙を納付する場合は、登記手数料としての収入印紙は、はらずにそのまま提出する。

準口頭 関連事件番号 平成 年(家) 第 号

○ ○ 家庭裁判所 御中
平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日

申立人 (又は法定代理人など) の署名押印 又は記名押印

甲 野 一 郎 (印)

添付書類 ※標準的な申立添付書類については、手続の概要と申立の方法のページ中の「申立てに必要な書類」欄をご覧ください。

申 立 人	本籍	(戸籍の添付が必要とされていない申立の場合は、記入する必要はありません。) 都 道 府 県 ○ ○ 市 ○ ○ 町 ○ 丁目 ○ 番地
	住所	〒 ○ ○ ○ - ○ ○ ○ ○ 電話 ○ ○ ○ (○ ○ ○) ○ ○ ○ ○ ○ ○ 県 ○ ○ 市 ○ ○ 町 ○ 丁目 ○ 番 ○ 号
	連絡先	〒 - 電話 () (注: 住所で確実に連絡できるときは記入しないでください。)
	フリガナ氏名	コウノ イチロウ 甲 野 一 郎 大正 昭和 ○ 年 ○ 月 ○ 日生 平成
	職業	会 社 員
※	本籍	(戸籍の添付が必要とされていない申立の場合は、記入する必要はありません。) 都 道 府 県
	住所	〒 - 電話 ()
	連絡先	〒 - 電話 ()
	フリガナ氏名	大正 昭和 年 月 日生 平成
	職業	

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分には、申立人、相手方、法定代理人、事件本人又は利害関係人の区別を記入してください。

申 立 て の 趣 旨

申立人の性別の取扱いを男から女に変更するとの審判を求めます。

申 立 て の 実 情

1 申立人は、小学校5年生頃から、自分の性別に違和感を覚え始め、中学校に入学後も、男子用トイレに入ることや他の男子生徒と一緒に着替えをすることが嫌で仕方ありませんでした。また、自分が女性であるとの認識もその頃から強くなっていきました。

2 平成〇年〇月から〇〇大学付属病院〇〇科へ通い始め、平成〇年〇月に性同一性障害と診断されました。それと同時に精神的サポート及びホルモン療法を開始し、平成〇年〇月及び平成〇年〇月には、性別適合手術を受けました。

3 現在の勤務先では、完全に女性と認識されており、名前も通称として「甲野花子」を使用しています。

4 申立人は、このように外見も中身も全く女性なのに戸籍などの性別欄が男となっているため、社会生活上不便な思いをすることがあります。したがって、性別の取扱いを男から女に変更する審判を求めます。

5 なお、申立人には、子がいませんし、結婚もしていません。

(成年に達した子がいる場合)

5 なお、申立人は現在結婚していませんし、子（長女〇〇、昭和〇〇年〇月〇日生）がいますが、既に成年に達しています。